

## 関東大震災から100年の節目の年 小中学生と地震火災を想定した体験型防災訓練を実施します

震災後に発生した火災によって、多くの方が犠牲になった関東大震災から100年。地震発生直後の火災を想定した避難訓練と消防公開訓練を実施し、市立山南学園の小中学生が防火防災の重要性や災害発生時に命を守る行動を学びます。

### 1 日 時

令和5年11月7日(火)9時～10時(少雨決行) ※中止の場合は、当日7時30分に決定

### 2 場 所

市立山南学園(東区北幸田)

### 3 訓練参加者

- ・全校児童・生徒398人、教員64人
- ・消防隊49人(消防団員含む)、岡山大学病院ドクターカー4人

### 3 内 容

訓練は、授業中に大地震(高知県南部震源マグニチュード8.0)が発生し、直後に校舎3階から火災が発生した想定で実施します。小中学生は教員の指示に従い校庭に避難した後、消防隊による消火・救出活動を実施します。また、付近では建物倒壊事案が発生し、屋内外にいる要救助者3人を消防隊と岡山大学病院の医療スタッフが連携し救出・救護します。

#### 【当日の流れ】

- ・8:30～ 報道説明、現地踏査
- ・9:02～ 授業中に緊急地震速報が鳴動し、数秒後に地震が発生する。地震の揺れがおさまるまでの間、自身の身を守る行動をとる。
- ・9:04～ 校舎3階から火災が発生し、自動火災報知設備のベルが鳴動する。
- ・9:05～ 落下物やガラス(造作物)の飛散、火災からの煙に留意し校庭へ避難する。
- ・9:10～ 消防車出動
- ・9:15～ 逃げ遅れの教員2人(3階に1人、屋上に1人)をはしご車と消防ヘリで救出する。
- ・9:33～ 建物倒壊が発生し、要救助者3人を消防隊とドクターカーが連携し救出・救護する。
- ・9:50～ 終了式
- ・10:00～取材対応

(別紙あり)

【令和5年3月 市立旭竜小学校での体験型防災訓練の様子】



地震から身を守る行動をとる児童



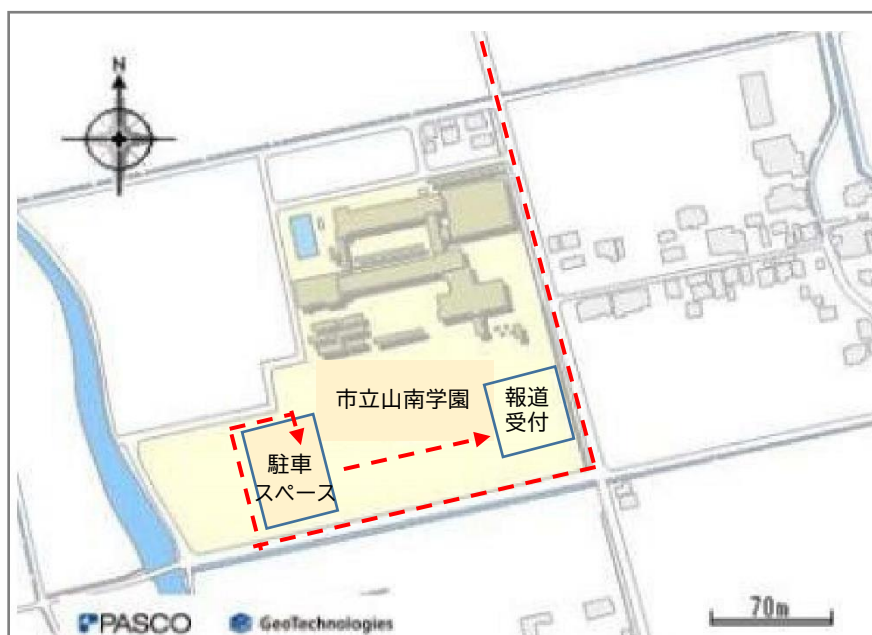
割れたガラス(造作物)などの中を避難する様子



消防隊による救出の様子

#### 4 その他

- ・取材を希望する社は、8時30分までに報道受付にお越しください。
- ・終了式後に小・中学生、消防への取材時間を設けています。
- ・本訓練は、令和5年秋の火災予防運動行事の一環として実施します。



【問い合わせ先】

岡山市消防局 東消防署 万代・小西 直通086-942-9119